



仕事の紹介

『九州を「元気」にする』『大切な人とのかけがえのない暮らしを守る』『未来の九州を育む』が九州地方整備局の主な仕事であり、使命です。そのために必要な社会資本を整備・管理する仕事を、1局、46事務所の組織、約3,100名の職員で行っています。

主な事業は、河川整備事業、ダム事業、砂防事業、道路整備事業、港湾整備事業、空港整備事業、官庁施設整備事業、公園整備事業であり、加えて、『当たり前前の日常を取り戻す』ための災害対応、復旧・復興も行っています。



ダム事業



道路整備



災害対応

大隅河川国道事務所での取り組み事例

●道路巡回

通行に支障が無いか、パトロールカーや徒歩により巡回や点検を行います。

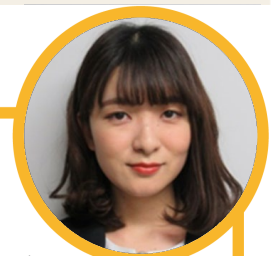


●修繕工事(橋梁・舗装等)
補修が必要となった橋梁やトンネル、舗装を修繕する工事を監督します。

●災害対応
桜島噴火や土砂崩落等災害時に、緊急工事等で対応します。



Message



現在勤務している、大隅河川国道事務所では道路管理の業務を行っており、国道の道路維持管理や災害対応、工事監督を担当しています。

自分の携わった事業が、地域に貢献していることが直接目に見えるので、非常にやりがいがある仕事です。 荒崎 聡子

鹿屋高校(鹿児島県)/琉球大学卒

H28年度に琉球大学を卒業し、地元九州で仕事をしています。九州地方整備局入省後は、宮崎県、福岡県、鹿児島県を転勤しながら各県の事務所で勤務しています。

卒業生・修了生の進路